

令和4年度 第3回二宮町図書館協議会 会議録

開催日時	令和5年2月7日 火曜日 14時30分から16時00分まで
開催場所	二宮町生涯学習センター マルチルーム1
出席者	森 英夫教育長、石井 敬士会長、桐岡 眞澄副会長、相澤 るつ子委員、 内山 留美委員、三宅 栄子委員、中西 美保委員
事務局	椎野教育部長、竹本生涯学習課長代理兼図書館長、込山図書館班長、 川村図書館班主事
欠席者	塚越 幸雄委員、伊庭 しげみ委員
その他	傍聴者1名

※ 会議次第および資料は、別添ファイルのとおり

会議記録

1. 開会

2. 挨拶

森教育長より挨拶

石井図書館協議会長より挨拶

3. 議題

(1) 図書館利用状況等について

事務局より、利用状況等について資料に基づいて報告

(会 長)

令和元年度、令和3年度の利用状況が同じような感じになっています。令和3年度がちょっと落ちていて、利用が盛り返してきたのが今年度になるわけですが、コロナの影響というのをどのように感じていますでしょうか。

(事務局)

令和元年度の3月に突然休館が始まったところから大きな影響が出始めたことになると思います。令和2年度に緊急事態宣言が4月の頭に出て、図書館の開館が6月中旬までできませんでした。その後も19時までの延長開館を取りやめてから順次金曜日だけ再開し、水曜日も再開したところで再度緊急事態宣言が出て短縮となりました。令和3年度は8月24日から9月30日の間が町の施設が全て休館ということになり、図書館に関しては予約図書の貸出やその場で職員が本を取ってきたものを貸出するという形でした。今年度に関しては1日の臨時休館があったもののそれ

以外については予定通りの開館ができています。貸出数や入館者数については、行動制限等で影響を受けていたという印象です。ここ数カ月は体感として利用者が戻ってきたという印象で、カウンターに出ているスタッフもそのように話しています。土日は最近だと680人から700人くらいの入館者があります。

(会 長)

様子を見ないといけません、利用がこのまま進んでくる可能性もあります。

コロナの影響が大きいと一般的に思われますが、本を読むというのはコロナの影響は関係ないと思います。コロナ禍でも本は読めるので、私は前年度と比べて2割くらい読む時間が増えました。コロナが必ずしも悪いというわけではなくて、対応方法によって利用を考える要素もあるかと思えます。

(教育長)

予約・リクエストを見ると、コロナ前より伸びていますが、予約の使い方に対して利用者がこんな方法があるのかと気が付いて伸びているのでしょうか。

(事務局)

緊急事態宣言後、図書館の予約・リクエストサービスを大きく見直しました。現在は在庫の資料でも予約をすればカウンターで準備をするようにしました。コロナ前は予約ができるのは貸出中の資料のみ承るというものでした。在庫している資料の予約が可能になったのが数字の伸びに大きく寄与しています。一方で手に取って内容をチェックしてから借りたい人も一定数いると受け止めています。今後も利用の動向を見ていきたいと思えます。

(委 員)

コロナで子ども達にとっては図書館に行く機会や体験が減っていたりしていたと思えます。学校もタブレットを使って学習するような時代になってきていますし、年代別の利用の統計はここではわかりませんが子ども利用や貸出に関してはどのような状況でしょうか。

(事務局)

コロナ禍以降、週末の午前中は親子連れの来館が増えたと感じています。昨年からは貸出冊数をひとり5冊から8冊に増やしましたが家族のカードで目一杯絵本を借りていくという利用のされ方が多くなってきています。コロナ禍での生活パターンの変化というところもあるのかという印象を受けています。

一方で小学生の放課後の利用が減ってしまったという面はあります。現在は視聴覚ブースを休止していますが、以前は放課後に子どもたちが連れ立ってアニメや子ども向けのDVDを観るといったような利用もありました。コロナ禍になり友達同士で出かけるという習慣が少し遠のいてし

まったのではないかという印象です。

(2)「令和4年度図書館の主な取組・事業」の取組状況について

事務局より、令和4年度図書館の主な取組・事業の取組状況について資料に基づいて説明。

(委員)

おもしろい試みをされている「おたのしみ袋」を始めたきっかけは何でしょうか。

(事務局)

目的は、図書館の利用促進で借りてもらうための仕掛けづくりということになるかと思います。令和2年度に初めて実施しましたが、このときはラディアンの開館が20周年の年でしたので講演会とかではなく館内でできる新しい試みとして始めました。他の市町村の図書館では事例がある取り組みになるのですが「福袋」という名称で年明けにしているものを参考にして、二宮町ではクリスマスの時期で年末の貸出期間が延長されるタイミングと合わせて、子ども向けのものには幼児向け、小学生向けには低学年向け、高学年向けというようなタグを付けています。クリスマスを感じるデザインにして児童担当がおりがみで作ったサンタのマスコットのようなものを作って一緒に付けています。

(委員)

大人向けの選択はどのようにしているのでしょうか。

(事務局)

子ども向けは幼児と小学生で違いますので本の対象年齢ごとに選んで出しています。一般向けは児童担当スタッフ以外のスタッフが1冊おすすめてを選んで14冊程度と正規職員3人で6冊くらいずつ選び、読んでほしい、自分の好きなおすすめての本として出しています。

(委員)

新しい図書を出したのですか。

(事務局)

新しいものということだけでなく、出版から何年か経っている本も出しました。小説やエッセイばかりではなく様々なジャンルを出しています。

(委員)

利用者からの感想は直接書いてもらったのですか。

(事務局)

書いていただいたということではなく、返却時にカウンターでお声をいただきました。「企画がよい」、「自分では選ばない本だった」など普段触れることのないジャンルを楽しんだという声を複数いただきました。

(委員)

読書会で自分では読まないような本のテーマを振られて読んでみたら面白かったというイメージですね。今後もやりますか。

(事務局)

読みたい本があるから来るのではなく、手に取ってみたらすごく面白かったという出会いを演出できたと思います。好評ですので今年の年末も計画していきたいと思います。

(委員)

図書館は受付で待っていて、そこに本が並んでいるというイメージですが、それに仕掛けづくりをしてオリジナリティを出すようなことでしょうか。

(事務局)

びっくり箱やおみくじのような開いてみないとわからないような仕掛けになったかと思います。

(委員)

評判が良かったということは活性化としていいと思います。

実際借りている層の傾向はどうでしょうか。

(事務局)

平日に来館し易い年齢層が手に取りやすかったのかもかもしれません。

(会長)

先ほど高齢介護課の話がありましたけれども、役場の他部署との連携で情報や本の紹介を多くしてもよいかと思います。認知症や医療情報などは町民が知りたいわけですからテーマを作って関連の課と協力をして展示をするというのも必要かと思います。医療情報だけでなく色々な情報があるので図書館だけでは集められないものも他部署と連携して町民に要望されるような情報を提供していくとよいと思います。

(事務局)

アルツハイマー月間の際には、図書館の資料とともに高齢介護課から提供のあった関連するパ

ソフレットや町の相談機関等のお知らせを準備しましたので他の分野も可能だと思います。

(委員)

図書館のひとつの役目としては、今までの世間体の古い価値観をいかにオープンにするかが本の一番の使命だと思っています。大和市でやっているような健康コーナーと一体でできるようなことができればいいと思っています。

(事務局)

3月が自殺対策強化月間で自殺対策や精神疾患に向き合う図書を展示します。担当課と連携して図書館の資料と町の担当部署が「ひとりで悩まない」というメッセージをきちんとより多くの方に伝わるようにしていきたいと思っています。

(委員)

ネットで多くの情報は出ているけれども集められない人も多くいると思います。そこで図書館が連携して色々な情報を出すということが図書館の大切な役割、使命だと思います。

(会長)

タイミングに合ったようなテーマを作って展示や紹介をすることを他と連携しながらやっていけば色々な人に見てもらえると思います。

(副会長)

町との連携というのを聞いたときに、すごく良い活動だと思っています。成年後見制度はあまり知られていない制度ですし、使い方を間違えると大変なこともあるのでこのようなことは細かく知らせていただくとよいと思いますので町との連携は今後も続けていってほしいと思います。

フェイスブックに掲載をされていると思いますが、それに対する反応で気になったことはありますでしょうか。

(事務局)

町のフェイスブックについては図書館に限らずコメントはいただけないので“いいね”の数が目安となっています。図書館については“いいね”を多くいただけますが具体的な反応としては難しいです。

(副会長)

そういった意見を吸い上げる場というののもあってもいいのかなと思っています。

(教育長)

今日は中学校の先生はいらっしゃらないですけども、中学校とのオンライン意見交換会も開かれておりますが、中学生との意見交換会の中でどのような意見が出たのですか。

(事務局)

10月に二宮中学校、2月に入って二宮西中学校と行いました。どちらの中学校でも事前に図書館から「おすすめの本を教えてください」や「どんな図書館だったら来てみたいと思いますか」というような質問をしました。10月の二宮中学校ではこちらも初めてだったこともあって進行がうまくいかなかったところもあったのですが、「最近好きな作家や朝の読書の時間にこんな本を読みました」などということを教えていただきました。その中のいくつかは図書館でも入れようということになって何冊か購入しました。

二宮西中学校では、「二宮中学校と意見交換をしてこういう本入れたよ」というような紹介をしました。また、「学校の図書室に来てくれない生徒に図書室に来てもらうにはどうしたらいいですか」というような委員会活動に活かしたいと質問がありました。町の図書館に来ない人に来てほしいと考える町の図書館職員と西中学校の学校図書室に来てほしいと考える図書委員さんと同じような構図があったり、「本は最初から最後まで読まなくてはいけない」と思っていたり、「本は文学や小説のようなイメージを持っていないですか」というような話をしました。

例えば、運動部に入っていて部活が大好きな生徒は図書室に寄り付かなくて、休み時間も外に出してしまうけれど、「大谷翔平の本だったら興味あるかもしれない」とか「最新の筋トレの方法が書いてある本だったら興味あるかもしれない」などの話をしたところ、とても熱心に聞いていました。図書委員会の活動の中で何かやってみようかなというような感じの反応でした。

(教育長)

生徒が朝読書で用意する本をというのは、自分で用意しているのか、図書館や学校の図書室で借りるのでしょうか。

(事務局)

基本的には個人で用意しておいて時間になると手に取って読書を始めるというようなやり方だと聞いていますが、学校の図書室であらかじめ借りておいてもよいということになっていると思います。

二宮西中学校では年間を通して朝読書の時間を取っていますが、二宮中学校では学期の中の特定の週間に読書週間ということで朝の読書を行うという取り組み方をしていました。その時には本を持って来るのを忘れてしまった生徒のために町図書館から借りておいた本を読めるように用意しておくというようなことを何年も続けていましたので、町の図書館から30冊から50冊程度中学生向けの本を貸出していました。先生から聞いた話では、続きが気になったので2日目、3日目と同じ本を読んでいた生徒がいたケースもあったと聞いております。今年度の途中から二宮中学校も毎朝読書を行うことになったそうで、取り組み方が変わったことで町の図書館としてどう

資料提供の機会を持っていけるかというところです。

(教育長)

小学校での取り組みがありましたら紹介いただけますでしょうか。

(委員)

水曜日の朝が読書の日となっていますので、自分たちが持ってきた本や図書室から借りた本を読んでいます。おはなし会の方が来てくださるときは読み聞かせを聞くことをしています。

(3)次年度の主な取組・事業について

事務局より、資料に基づき説明

(会長)

今年の1月1日の県の人口統計で、二宮町は人口が増加しています。二宮町は自然増ではなく社会増で転入者が増えてきたこともあり、図書館サービスを転入してきた人も含めて充実をしていく必要があると思います。二宮町図書館の需要が非常に高く、町民だけでなく、大磯町や中井町、小田原市などの周辺からも利用が多いですから、そういった状況の中で皆さんに使ってもらえるような図書館サービスの充実をお願いします。

(委員)

電子書籍を取り入れる図書館が県内でもかなり増えてきていますね。24時間自宅からでも見ることができ、障がいのある方への読み上げ機能があるそうです。電子書籍が普及したのはコロナがきっかけというのもあるようです。

(委員)

教育大綱と図書館の主な取組についてですが、大綱の基本理念のところに「町民の多様性を尊重し」と書いてあるので図書館の取組の中にも多様性を入れたほうが良いと思います。先ほど人口が増えているという話がありましたが、私も移住してきた方たちと接する機会が多いのですが、生活のスタイルや価値観が非常に多様化しているので図書館の重点事業にあったほうがよいと思います。読書というどうしても読み物というイメージになってしまっていますが、昆虫が好きな子とか、鉄道が好きな子など本当に様々な子ども達が特化した分野で自己肯定感を持っているようなことができるようになるので、読み物も大事ですがいろいろな分野の本を子どもにとって揃えると、実際の生活の中での多様性や価値感に対応できる図書館になると思いますのでよろしくをお願いします。

(委員)

主にアメリカですが図書館には図鑑がそろっています。日本はノウハウ本が多いのですが、なぜそのノウハウなのかという元本というのが図鑑です。図鑑は高いので家庭でそれをそろえるというのは大変で、それが図書館にあるということで視野を広げると思います。絵本についてもたくさん読み聞かせることが大事です。二宮の図書館はよい幼児向けの本が揃っていて、これは二宮の誇りです。

(4)その他

なし

(会長)

その他特になければ、進行を事務局へお返しします。

(生涯学習課長代理兼図書館長)

会長ありがとうございました。

7. 閉会

16時00分閉会